

学生相談室だより

2011年7月号

相談協力委員の先生を
ご紹介します！

経済学部 矢吹 雄平先生



矢吹先生の学生時代を教えてください

広島県福山市の出身で、今も福山から通ってるんですよ。中学校は公立中学に行って、高校は岡山県の金光学園に通ってました。高2の終わりまで理科系にいたんだけど、性格的に向いてないんじゃないかと思って、文転しました。その後、一橋大の経済学部に入學して、独立した仕事ができるのは何か色々考えました。まずは公認会計士だと思って一生懸命勉強しました。ところが、バランスシートの計算で左右の数字が合わなかったりして、「いやダメだ」と思って。次に自分の人生どうするかと考えた時、公的な仕事が見たいなあとと思って勉強を始めました。僕の学生時代は、何か目標に向かって走っていないと不安だ、って所があって。基本的に不安症なんじゃないかな？今でもその時々の長期・中期・短期の目標があって現在の生活がある、と思っています。



どのような経緯で旧郵政省に？

2つの省庁から内定をもらいましたが、周囲の反対を押し切って旧郵政省に入りました。学生みんなにいつも言うんですけど、社会的な評価とか親御さんの意見は重要だけど、やっぱり働くのは自分だから、何となく合う/合わないは自分で分かるでしょ。なので、僕は自分の感覚を信じました。あと郵便局に興味がありました。しかも都会のそれじゃなく田舎の、地方の郵便局。明治初期の地方の庄屋といった名士のような人が自宅を郵便局として貸す形で、前島密が全国に郵便網を作ったそういう歴史。今から思うと、結局現在の研究テーマに繋がる「地域」に興味があったんだと思います。そして、幸いなことに旧郵政省に大切にしてもらい、新設の旧経済企画庁の経済白書を書くポストに出向させてくれました。

コンサルティング会社で働かれていたとの事ですが…

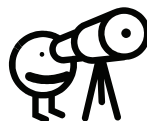
旧郵政省にいざ戻るといふ時、たまたま嫁さんが外資系の銀行にいて、あるヘッドハンターを知ってて。その人に今後の相談をしたら、「それは絶対に経営コンサルティング会社がいい。すごく厳しい面接があるけど、その会社

の1年は普通の会社の3年の経験に相当すると言われていて、その会社にいたこと自体がキャリアになる。受かったら1年間でもいいから行きなさい」って。ここで述べ9時間！の面接を受けたら、何でか分からないんだけどそれらしいことを答えたらいいんだよね。面接する人は、発想や論理性などを見ていて、いわゆるMBA(経営学修士)の勉強をしてなくても、潜在的な何かがあるだろうという判断のようだったみたい。経営に関しては勉強も何もしてなかったんですけど…。

その経験もあって僕、“縁”ってめちゃくちゃ大切だと思って。同じ力量で就職活動に行っても、幸不幸がある。だから学生のみんなには「就活で落とされても一喜一憂するな。運の要素は絶対あるんだから。今回は縁がなかったと思え」と。だって、僕の場合でも、面接する人、投げかけてくれた質問、そこにたまたま浮かんだ僕のアイデアそういうものが「たまたま」うまく組み合わせられた結果でもあるでしょ。

入社後は、経営学を勉強しながらコンサルティング業務をして、ほんとに表現のしようが無いほど大変でした。しかも、周りはほとんどMBAを持っていて。当時日本でMBAを取れるのは慶應ビジネススクールくらいだったんですが、昼間授業があって両立は無理。休職制度がなかったので、一回辞めてまた戻ってこようと思を決して慶應ビジネススクールに入學しました。修士だけと思ってたんですけど、これも縁でしょうか？嶋口充輝先生という恩師に出会い、博士まで行くことになって。というのも、外資系のコンサルティング業界は50歳以上の人がいない訳ですよ。超駆け足の人生みたいになっちゃうんです。それを知ってた嫁さんが、博士課程進学に賛成して。そういう経緯もあってコンサルに戻らず大学教員の道を選びました。

そして、3年ぐらいたった頃に、いい教育や研究ができていくかどうかはとりあえず横に置いて、「あ、この仕事が天職だなあ」と思い始めたんです。結局、使命だと思えるような職業に、運よく最初に巡り合う人もいれば、僕みたいに変遷を重ねて辿り着く人もいる。「なんとなく自分探し」をしてたら絶対に見つからないことだけははっきりしてますが、「自分は何をするために生まれてきたのか」を、常に真摯に追究し続けることが大事だと思います。



まだまだ続きます！⇒

先生は波瀾万丈の人生を送られながら、ストレスや
レッスンなどを感じてきたと思います。
そんな時、どうやってそれらに打ち勝ってきたんですか？

自分で考えたり、人に相談したり、その関係の本を読んだりしてきたけど、自分の心をきちんとマネジメントする、これが重要だし大切です。でも、本当に、本当に難しい。僕の専門は組織をマネジメントする経営学の中のマーケティング論ですが、まずは一人ひとりが自分の心をちゃんと管理することがものすごく大事。そういう個人のレベルで、みんなが出来沸くことをきちんと受けとめて自分の心をマネジメントすると同時に、そういった構成員が組織の中で増えてゆけばその組織は優良になるでしょうし、ひいては社会だって、ひいき目に見積もっても今より相当良くなると思うんですよ。



先生の趣味は？

心のマネジメントが趣味になってしまいましたね(笑)。それはさておき、学生時代に趣味を掘げた方がいいですよ。社会人になるとそれどころではないから。大好きなのは、クラシック音楽の鑑賞とオープンカーに乗ること。後者の実現は教員になってからで、大学院生時代の憧れでした。「〇〇になるぞ」という使命感的な目標を持つことも大切だけど、大邸宅を構えたいとか、僕みたいにオープンカーを手にして絶対に乗りたいとか、世俗的な目標も自分の原動力として持つべきじゃないかな。それから今の時代、真に良いものを買って、それを長く大切に使うことも大事だと思います。今の車も20年乗るのが目標です！



今回は、ピアサポーターの高木くん・石井くん・
竹永さん・楠瀬さんがインタビューしてくれました

第2回 キャンパスライフセミナー

「人生ゲームで人生について考える」
を開催しました！

今回も、大勢の学生が参加してくれて大変賑わいました。
キャンパスライフセミナーは、様々な内容で、毎月開催されます。
岡大生であれば誰でも参加できますので、詳細は学生相談室まで。



最後に、岡大生へメッセージをお願いします！

皆さんに言いたいのは二つ。一つ目は、自分を心底見つめ使命感をもった上で「〇〇になる」という目標を持ってそれを持続すること。誰しも目標をそれなりに設定するけど、保持できる人は少ない。持続するためには、本当に強い“思い”が必要。そこで真価が問われます。ぜひ皆さんには、僕のように変遷しても結果的にはそれぞれが繋がっていくと思いますから、そういう強い“思い”を持って日々頑張ってもらいたいです。社会全体からみると、「皆さんが活躍しないと誰が今後の社会を背負っていくんだ」、って思います。

二つ目は、「相乗効果」。勉強・バイト・サークル・恋愛・日常生活…も、学部によって容易さは違うけど、できるだけ
 $2+2+2+2+2=10$ じゃなくて $2\times 2\times 2\times 2=32$ にする。特に恋愛なんてものすごく大切に、男と女が相当違う“生き物”だってことを早いうちに確認するためにも真剣な恋愛は不可欠。人間が与えられている唯一？公平な条件の1日24時間を最大限活用するためにも、相乗効果を効かせて1日1日を大切に過ごして下さい！



矢吹先生ありがとうございました！

このインタビューに関するご意見・ご感想をお待ちしています。



相談協力委員の先生は各学部にあります。
相談したい人は、学生相談室までご連絡ください。

<津島地区>

- 場 所：一般教育棟C棟1階
- 時 間：10：00～12：00, 13：00～17：00（月～金）
- 電 話：086-251-7169（受付）
086-251-7184/8458（カウンセラー直通）
- メール：nayami@cc.okayama-u.ac.jp



※鹿田地区は予約制です。予約は下記連絡先まで。

- 場 所：管理棟2階 学務課内（学生支援センター鹿田室）
 - 時 間：10:30～12:30 / 13:30～17:30（月～金）
 - 電 話：086-235-6589（受付）
 - メール：nayami-2@cc.okayama-u.ac.jp
- ※相談場所は記念会館3階です。

電話やメールでも
相談できるよ！



学生相談室